

平成22年3月18日

各位

上場会社名 ミサワホーム北海道株式会社
 代表者 代表取締役 渡辺 道広
 (コード番号 1761)
 問合せ先責任者 執行役員 総合企画部長 星加 龍哉
 (TEL 011-822-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	157	47	10	0.87
今回発表予想(B)	21,300	△219	△330	△400	△34.65
増減額(B-A)	△1,700	△376	△377	△410	
増減率(%)	△7.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	26,840	△448	△558	△872	△84.18

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,080	136	23	22	1.91
今回発表予想(B)	19,800	△266	△370	△430	△37.25
増減額(B-A)	△1,280	△402	△393	△452	
増減率(%)	△6.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	25,181	△509	△620	△912	△88.06

修正の理由

(1)連結業績予想

当第4四半期連結累計期間における北海道経済は、一部に持ち直しの動きが見られるものの低迷が続いており、個人消費は、政府の経済対策効果で自動車、家電などの耐久消費財を中心に持ち直し傾向が見られるものの、依然、雇用・所得環境は厳しい状況が続いております。

住宅業界におきましても、過去最大の住宅ローン減税、住宅版エコポイント制度の創設など業界に追い風となる政府政策が打ち出されたものの、厳しい雇用・所得環境の急激な改善は望めず、受注環境は非常に厳しい状況で推移しております。

こうした中、当社グループは手持ちの受注残のコスト削減や販売費及び一般管理費の削減等により利益確保に努めてまいりましたが、第4四半期における受注状況が想定した水準を大幅に下回る可能性が出たため、再度決算見通しを精査した結果、上記の通りとなる見込みであります。

(2)個別業績予想

個別業績予想につきましては、主に連結の業績修正理由に伴い、修正するものであります。

(注) 今回の修正値は発表日現在入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実なる仮定を前提としており、実際の決算とは異なる可能性があります。

以上